

平成26年度

湯沢砂防だより

No.40

平成27年2月16日

国土交通省 湯沢砂防事務所

登川流路工を魚が上っています！

湯沢砂防事務所が昭和51年度から整備を進めてきた登川流路工は、平成23年7月の新潟・福島豪雨により大きな被害を受けました。また、登川流路工内の魚類は激減し、平成23年の秋に実施した魚類調査では、流路工内で殆ど魚類を確認することができませんでした。

この豪雨以降、被災した施設の補強に併せ、過去に整備した階段式の魚道を全断面式に改良するなど、魚類がより遡上しやすい流路工の整備に努めてきました。

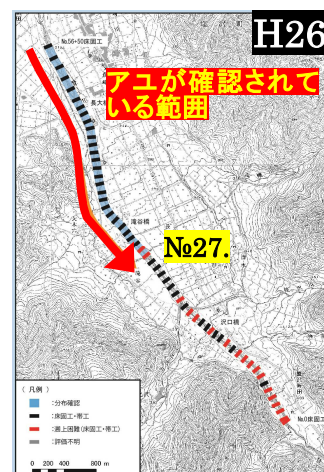
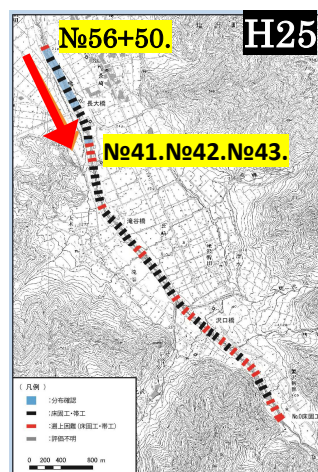
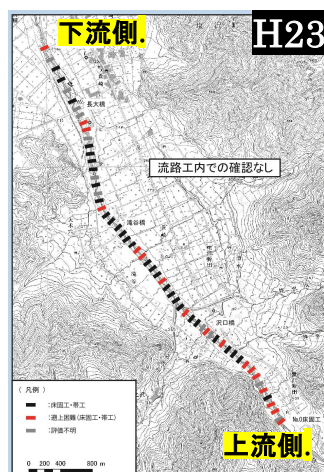
昨年8月に行った調査の結果、流路工内の魚類が回復し、アユやウグイが流路工内を広く遡上・生息していることが確認されました。引き続き魚類等の自然環境に配慮しながら、砂防事業を実施して参ります。



登川流路工第56号床固工の深掘発生状況（H23.8撮影）

第56号床固工補強後（H26.7撮影）

登川流路工 調査年度別のアユの確認状況（※H23以外の調査はいずれも夏季に実施）



アユ *Plecoglossus altivelis altivelis* （サケ目 アユ科）

魚野川とその支川の代表的な回遊魚。遊漁の対象として人気が高い。春に海から川に遡上し、中流域の扇状地河川を主な生息地とする。河床の礫についた付着藻類を食べて成長し、秋になると成熟し扇状地の末端付近まで下って産卵する。